



2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2022年11月10日

上場会社名 高田機工株式会社
 コード番号 5923 URL <http://www.takadakiko.com>
 代表者 (役職名) 取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長
 四半期報告書提出予定日 2022年11月14日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 06-6649-5100
 2022年12月1日

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の業績(2022年4月1日～2022年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	7,324	△9.8	163	△71.6	237	△66.5	184	△69.9
2022年3月期第2四半期	8,116	22.7	576	253.0	706	213.3	612	164.0

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	87.32	—
2022年3月期第2四半期	278.20	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	22,629	19,055	84.2
2022年3月期	24,546	19,036	77.6

(参考)自己資本 2023年3月期第2四半期 19,055百万円 2022年3月期 19,036百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	40.00	—	60.00	100.00
2023年3月期	—	50.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	50.00	100.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,000	8.5	500	△34.5	640	△31.8	500	△33.1	229.94

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年3月期2Q	2,237,586 株	2022年3月期	2,237,586 株
2023年3月期2Q	126,589 株	2022年3月期	126,498 株
2023年3月期2Q	2,111,051 株	2022年3月期2Q	2,202,645 株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(重要な後発事象)	6
(追加情報)	6
3. 補足情報	7
売上及び受注の状況	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の急増も見られましたが、各種行動制限の緩和から社会経済活動の正常化が進み、景気は持ち直しの動きが見られました。しかしながら、エネルギー・原材料価格の高騰や急激な円安の進行から、景気は先行き不透明な状態が続いております。

当業界におきましては、橋梁事業では、高速道路会社の大型案件の発注はあったものの、国土交通省、地方自治体の発注は低調に推移しました。そのような環境下で業界各社の受注確保に向けた競争は熾烈なものとなり、各工事の落札は総合評価値の僅差な争いが続きました。鉄構事業では、首都圏を中心とした大型再開発事業は概ね順調に発注される一方で、工程ずれ問題や鋼材・副資材の価格高騰の影響も相まって、ファブリケーターの受注環境は不透明感が拭い切れないままの状態で推移しました。

このような状況のもとで当社は受注の確保を最重要課題として取り組み、橋梁事業では、限られた経営資源を最大限に活かしつつ、地元や各地域への貢献も視野に入れた営業活動を展開いたしました。その結果、前年同四半期を上回る数値を残すことが出来ました。鉄構事業では、目標案件の受注予定時期が年度後半以降となり、当第2四半期累計期間の受注高は低調な結果となりました。

損益面では、原価管理を徹底する中で手持ち工事が順調に進捗し、第1四半期累計期間と比較して橋梁事業の粗利率が改善したことで、業績予想には届かないものの赤字決算からは脱却し、営業利益を確保することが出来ました。

当第2四半期累計期間の経営成績は、売上高7,324百万円（前年同四半期比9.8%減）、営業利益163百万円（前年同四半期比71.6%減）、経常利益237百万円（前年同四半期比66.5%減）、四半期純利益184百万円（前年同四半期比69.9%減）であります。

（2）財政状態に関する説明

当第2四半期会計期間末の総資産は、22,629百万円で前事業年度末比1,916百万円の減少となりました。主な要因は現金預金と受取手形・完成工事未収入金の減少であります。負債は、前事業年度末比1,936百万円減少し、3,573百万円となりました。主な要因は支払手形・工事未払金、短期借入金及び未成工事受入金の減少であります。純資産は利益剰余金の増加とその他の有価証券評価差額金の減少により、前事業年度末比19百万円増加し、19,055百万円となりました。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期の業績は業績予想未達となりましたが、手持ち工事の進捗は順調であり、2023年3月期の業績予想は達成可能と考えております。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	3,667,653	3,432,930
受取手形・完成工事未収入金	9,010,346	6,845,624
未成工事支出金	76,013	104,823
材料貯蔵品	17,023	18,107
その他	215,686	76,220
貸倒引当金	△26,500	△19,800
流動資産合計	12,960,223	10,457,905
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物	4,340,031	5,065,531
減価償却累計額	△3,618,114	△3,610,496
建物・構築物(純額)	721,917	1,455,035
機械・運搬具	4,482,430	5,095,884
減価償却累計額	△4,198,536	△4,209,941
機械・運搬具(純額)	283,893	885,942
土地	5,311,364	5,311,364
その他	1,727,024	963,832
減価償却累計額	△869,930	△850,349
その他(純額)	857,093	113,483
有形固定資産合計	7,174,269	7,765,825
無形固定資産		
ソフトウェア	13,210	17,728
その他	8,631	8,610
無形固定資産合計	21,841	26,339
投資その他の資産		
投資有価証券	3,671,875	3,621,261
従業員に対する長期貸付金	13,904	12,289
前払年金費用	315,466	345,171
繰延税金資産	6,909	10,209
その他	446,459	455,060
貸倒引当金	△64,830	△64,830
投資その他の資産合計	4,389,783	4,379,162
固定資産合計	11,585,894	12,171,327
資産合計	24,546,118	22,629,232

（単位：千円）

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金	1,649,646	1,099,430
短期借入金	2,000,000	1,300,000
未払法人税等	33,217	52,606
未成工事受入金	860,183	432,882
賞与引当金	221,675	226,680
工事損失引当金	203,889	168,895
その他	416,173	159,438
流動負債合計	5,384,786	3,439,934
固定負債		
退職給付引当金	124,788	133,397
固定負債合計	124,788	133,397
負債合計	5,509,574	3,573,331
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,178,712	5,178,712
資本剰余金	4,608,706	4,608,706
利益剰余金	8,884,838	8,942,524
自己株式	△391,487	△391,717
株主資本合計	18,280,769	18,338,225
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	755,774	717,675
評価・換算差額等合計	755,774	717,675
純資産合計	19,036,543	19,055,900
負債純資産合計	24,546,118	22,629,232

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
完成工事高	8,116,677	7,324,932
完成工事原価	6,906,833	6,495,755
完成工事総利益	1,209,844	829,176
販売費及び一般管理費		
役員報酬	54,085	56,268
従業員給料手当	246,625	252,872
賞与引当金繰入額	57,350	59,735
退職給付引当金繰入額	8,701	8,198
通信交通費	26,254	34,560
雑費	240,023	253,819
販売費及び一般管理費合計	633,041	665,453
営業利益	576,803	163,722
営業外収益		
受取利息	5,472	4,061
受取配当金	51,363	62,613
投資有価証券売却益	44,869	1,319
その他	41,050	23,066
営業外収益合計	142,756	91,060
営業外費用		
支払利息	4,989	4,662
支払保証料	2,911	5,629
支払手数料	4,362	4,051
その他	640	3,379
営業外費用合計	12,902	17,723
経常利益	706,656	237,060
特別損失		
固定資産除却損	—	21,165
特別損失合計	—	21,165
税引前四半期純利益	706,656	215,894
法人税、住民税及び事業税	89,665	24,191
法人税等調整額	4,195	7,350
法人税等合計	93,861	31,542
四半期純利益	612,795	184,352

（3）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（重要な後発事象）

（自己株式の取得）

当社は2022年11月10日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式を取得すること及びその具体的な取得方法について決議いたしました。

（1）自己株式の取得を行う理由

経営環境の変化に対応した機動的な資本政策を遂行し、資本効率を向上させることで株主利益の向上を図るためであります。

（2）取得に係る事項の内容

① 取得する株式の種類

当社普通株式

② 取得する株式の総数

90,000株（上限）

（発行済株式総数（自己株式を除く）に対する割合4.26%）

③ 取得する期間（取得日）

2022年11月11日

④ 取得価額の総額

211,410千円（上限）

⑤ 取得の方法

東京証券取引所における自己株式立会外買付取引（ToSTNeT-3）による買付

（追加情報）

新型コロナウイルス感染症の影響につきましては、今後の当社の業績に与える影響が軽微なものと仮定し、繰延税金資産の回収可能性等の会計上の見積りを行っております。

なお、前事業年度の有価証券報告書に記載した内容から、重要な変更はありません。

3. 補足情報

売上及び受注の状況

売上状況

期別 セグメント別	前第2四半期累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)		当第2四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)		前事業年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
橋梁	6,424	79.1	6,200	84.6	12,169	77.7
鉄構	1,692	20.9	1,124	15.4	3,500	22.3
計	8,116	100.0	7,324	100.0	15,669	100.0

受注状況

期別 セグメント別	前第2四半期累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)		当第2四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)		前事業年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
橋梁	3,091	96.6	7,118	83.2	11,079	78.8
鉄構	110	3.4	1,441	16.8	2,982	21.2
計	3,201	100.0	8,560	100.0	14,061	100.0

受注残高

期別 セグメント別	前第2四半期会計期間 (2021年9月30日)		当第2四半期会計期間 (2022年9月30日)		前事業年度 (2022年3月31日)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
橋梁	13,970	78.3	17,131	76.5	16,212	76.7
鉄構	3,868	21.7	5,250	23.5	4,933	23.3
計	17,839	100.0	22,381	100.0	21,145	100.0